

# 養 魚 試 験

丹 下 孚  
藤 本 武

## 1. 趣 旨

前年度に引續いて切鯉養成試験を行った。

## 2. 養成方法

### 種 鯉

(1)購 入 先 東京都水産試験場水元分場

(2)大きさ及び數量

体長 2 寸もの 10,000尾

体長 2寸 5分もの 2,000尾

(3)放養日時 5 月 24 日午後 4 時

(4)放養尾數 第 1 表の通り

第 1 表. 池別放養尾數並に坪当りの放養尾數

餌 料 (第 1 図参照)	池 別	放養尾數	池 坪 數	坪当り放養尾數
(1)餌料の種類及び數量	1	1,900尾	330坪	5.7尾
乾蛹 520貫	2	2,000 "	367.5 "	5.4 "
乾麵 50貫	3	1,800 "	367.5 "	4.9 "
押麥 24貫	4	2,000 "	367.5 "	5.4 "
計 594貫	5	1,700 "	367.5 "	4.6 "
	6	2,600 "	500 "	5.2 "
(2)投餌期間	計	12,000 "	2,300 "	平均 5.2 "

自 6 月 1 日

至 11 月 22 日

## 3. 收 納

取揚げ (翌春) の成果は、切鯉 (80 匁以上のもの) 173 貫、中羽 (80 匁以下のもの) 383 貫 200 匁であつた。(第 2 表参照) 放養魚の大半が切鯉の大きさに達しなかつた原因として次の事が挙げられる。

- (1)種鯉が稍々矮少であつた為、初期の摂餌量が少なかつた事。
- (2)夏季の水温が比較的高温であつた為、餌付きが不良であつた事。

第 2 表 取揚げ負數

池 別	中 羽	切 鯉	計
1	61ノ600匁	29ノ800匁	91ノ400匁
2	47ノ300匁	57ノ900匁	105ノ200匁
3	71ノ400匁		71ノ400匁
4	109ノ000匁	14ノ600匁	123ノ600匁
5	93ノ900匁		93ノ900匁
6		70ノ700匁	70ノ700匁
計	383ノ200匁	173ノ000匁	556ノ200匁

第 1 圖

月別 氣温水温 投餌量

